

学生団体 Change

Change

(執筆者 足立陽菜・井神ほのか・岸本由奈・倉橋陽子)

1. 団体概要

学生団体 Change は地域課題を発見し、地域の課題を解決することや地域の輪を広げることを目的としており、人と人とのつながりを重視して活動している。主に小学生以下を対象としたイベントを企画・運営している。学生が主体となって活動することで世代間交流の場となることを目指している。2019年6月に発足し、現在は2回生5人、1回生5人の計10人で活動している。

2. 2021年度の活動について

今年度は、コロナ禍で増えたおうち時間を親子で一緒に楽しんで過ごしてもらえるように、Instagramを通して小さな子でも真似して遊べるコンテンツを発信する活動を始めた。季節を感じながら楽しむことができる内容を目指して、毎月折り紙・ゲーム・クイズを考えた。

また、コロナウイルスの流行が少し落ち着いてからは子ども食堂のボランティアに参加し、地域の方々とも子どもたちと一緒に昼食の準備を行った。昼食後は屋外での「鬼ごっこ」や「だるまさんが転んだ」などの遊びを通して体を動かしながら子どもたちとさらに交流を深めることができた。

さらに、「コープこうべ第7地区本部」、「ハイハイよちよちくらぶ」と連携し、オンラインクリスマス会を実施した。当日はZoomの管理・撮影・ハンドベル・ダンスを担当した。オンラインイベントであったが、学外の方々と協力して子どもたちに楽しんでもらえる時間を作ることができた。

コロナ禍で今まで通り活動することが難しい部分もあったが、団体が目的としている地域の輪を広げることを目指して、他の団体の方や地域の子も子どもたちと関わることができた。

3. 活動を通して学んだこと

子ども食堂の活動を通して、私たちは周囲を見渡し、自身の役割を見出す姿勢を得ることができたと思う。子どもたちの中には周囲の輪に入れず1人である子どももいる。そのような子どもを見つけ、私たちが話しかけて一緒に遊ぶ・他の子どもと交流できるよう仲介人として働きかけるなどその場で求められていることを自ら探して行動することが多々あった。この周囲の状況を見て自身の役割を見出す姿勢は、これからのミーティングや他の活動を円滑に進めていくうえでとても大

切なことだと考える。

また、Instagramの活動から伝えることの難しさを学んだ。コロナ禍でのおうち時間でも楽しんでもらえるようにと、折り紙、クイズ、ゲームについて発信してきた。対象が小学生以下の子どもたちであることから、どうすれば分かりやすく情報を伝えられるかを意識し、写真だけでなく動画を用いた。また、私たち Change を知らない人にも投稿に興味を持ってもらえるように、表紙に力を入れた。イラストを用いたり、色や字のサイズを工夫した。試行錯誤し、届けること・伝えることの難しさを実感した一年だった。

4. 今後の展望

2021年度は感染症流行対策のためオンラインでの活動が主であり、一方的な情報発信が多くなってしまった。しかし、少しずつ課外活動の制限も緩和されてきているため、今後は子どもと直接関わることでできるイベントを企画し、相互的な関わりをつくることで交流を深めたい。まだ計画途中ではあるが、地域の方々や他の団体と連携することでより多くの人と交流できるイベントを考えている。

コロナ禍でもできることとして始めた SNS での発信も継続して行うことで、Change に興味を持ってもらえるきっかけにしたい。また、子ども食堂でのボランティアなどを通してできた人と人とのつながりを活かしてさらに活動の場を広げたい。



図1: 子ども食堂(出所) Change 公式 Instagram



図2: Instagramの投稿
(出所) Change 公式 Instagram